

平成 28 年 3 月 4 日

泉南市報道提供資料

泉佐野市政記者クラブ会員 各位

泉南市秘書広報課長 古木 孝彦

(広報担当：藤原)

初の里帰り！「泉南楽会* 泉南のモササウルス展」を開催します

泉南市教育委員会では、下記のとおり企画展示を開催しますのでお知らせします。

記

■展示会の概要

近年、泉南市内では国内最大級のモササウルス類**の顎化石が相次いで発見されており、しかも同一個体であったことが確認されました***。今回の展示では、大阪市立自然史博物館および、きしわだ自然資料館の協力のもと、市内で発見されたモササウルスの顎の化石のほか、アンモナイトなどの泉南市内で発見された化石を紹介。また、今回展示しているモササウルスの標本についての講演会や、体験イベントも開催します。これにより、世界的にも貴重なモササウルスの標本が、本市にて発見されたことを市民に周知し、郷土愛の醸成を目指します。

■展示資料（予定）モササウルス化石 2点、アンモナイトなど15点

■主 催 泉南市教育委員会

■協力 大阪市立自然史博物館、きしわだ自然資料館

■開催期間 平成 28 年 3 月 12 日（土）～平成 28 年 3 月 27 日（日）

■会 場 泉南市埋蔵文化財センター 〒590-0505 泉南市信達大苗代374-4

■休館日 3/13、3/20、3/21

■開館時間 9：30～16：30

■入館料 無料

■モササウルス化石について問合せ 大阪市立自然史博物館 担当：林（はやし）学芸員

メール：hayashi@mus-nh.city.osaka.jp 電話：06-6697-6222

きしわだ自然資料館 担当：風間（かざま）学芸員

メール：sizen@city.kishiwada.osaka.jp 電話：072-423-8100

* 泉南楽会とは 平成15年文部科学省の「生涯学習まちづくりモデル事業」として国の委託事業として始まり、平成17年度以降は市単独事業として実施。今回が13回目を迎える。

**モササウルス類とは、ティラノサウルスなどの恐竜が陸上で闊歩していた、中生代白亜紀後期、約9,800万年前から6,600万年前に生息していた、海に進出したトカゲやヘビの仲間。巨大なものでは15メートル以上もの大きさになる。

***いずれも泉南市の山中で発見された化石が、発見後の調査により同一個体であることが確認された。岸和田市所蔵の標本寄贈者は宇都宮聡さんで、2010年3月14日に発見したもの。大阪市立自然史博物館所蔵の標本寄贈者は、灘高校の地歴部部員2名（当時）で、平成26年9月23日に、部活動中に発見したもの。

泉南のモササウルス展

第13回
泉南楽会



モササウルス類とは、ティラノサウルスなどの恐竜が陸上で闊歩していた、中生代白亜紀後期、約9,800万年前から6,600万年前に生息していた、海に進出したトカゲやヘビの仲間です。巨大なものでは15メートル以上もの大きさになることがわかっています。今回展示する化石は世界的な大発見なのです！



2016.3/12-3/27 (休館日 3/13・20・21)

【会場】泉南市埋蔵文化財センター

大阪府泉南市信達大苗代 374-4・電話 072-483-6789

【開館時間】9:30～16:30 (入館無料)

講演会「泉南の化石が解き明かす恐竜時代の大阪」

【とき】3月19日(土) 13:00～14:00

【講師】林 昭次さん(大阪市立自然史博物館学芸員)
宇都宮 聡さん

【定員】60名(3/11締切・追加募集中)

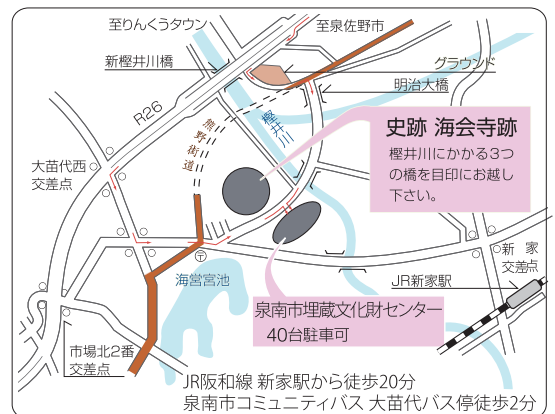
【申込み】往復はがきに、住所、氏名、年齢、電話、を明記のうえ、
〒590-0592 泉南市役所 生涯学習課 まで

体験イベント「化石発見」締切ました！

【とき】3月19日(土) 14:30～15:30

【内容】化石露頭で採取した石から化石を発見

絵：西澤真樹子さん



【展示資料(予定)】モササウルス化石 2点、アンモナイトなど15点【主催】泉南市教育委員会
【協力】大阪市立自然史博物館、きしわだ自然資料館